

平成26年度
(平成25年度分)

事務事業評価票

A 一般型

No.

2202002

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名 ホーム・シアター・レス	区ボランティアセンター運営	所管局部課等	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
		(連絡先)	TEL 075-251-1175
		(評価票作成者)	地域福祉課 大泉 清貴

業務運営方法 全部補助等	委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容 京都市社会福祉協議会に対して, 区ボランティアセンターに係る人件費, 事業費等を補助している。	事務事業の性格	任意の事業		
		類型	2 事業補助		
		会計区分	一般会計		
		開始時期	平成	7	年度
		終了(予定)時期	平成		年度
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	区ボランティアセンター運営事業実施要綱				

主たる上位施策	1502 地域におけるつながりの構築				
事業概要	目的 (どのような状態にしたいのか)	ボランティア活動に参加したい人が誰でも参加できるよう地域住民のニーズを積極的に開拓するとともに, 活動に当たって必要な援助を行うことにより, いつでも, どこでも, 誰でも, ボランティア活動に参加できる体制の整備に努めるため, 円滑な区ボランティアセンターの運営を支援することによって, 区域におけるボランティア活動の一層の充実・発展を図ることを目的とする。			
	背景 (どのような経緯で事業を開始したのか)	区域におけるボランティア活動推進のため, 平成7年度から順次, 各区の社会福祉協議会に区ボランティアセンターが設置され, 平成9年度に全区の設置が完了した。地域福祉推進のためには, ボランティア活動の振興が重要な課題であるため, 設立当初から, その運営に対して助成を行っている。			
	対象 (誰を, 何を)	(福)京都市社会福祉協議会			
	活動内容 (どのような手段で)	行政区域におけるボランティア活動の中核施設として, 各区社会福祉協議会が行政区毎に区ボランティアセンターを設置しており, この事業運営に対し市社協を通じて補助を行う。			

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算
	①	事業費 (千円)	23,463	23,463	23,463	23,463
		負担金補助及び交付金	23,463	23,463	23,463	23,463
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
			0	0	0	0
		①' 委託料	0	0	0	0
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①)	0.0	0.0	0.0	0.0
	③	人件費 (千円)	1,823	1,829	1,748	1,748
		職員(課長級) (人)	0.01	0.01	0.01	0.01
		職員(課長補佐級, 係長級) (人)	0.05	0.05	0.05	0.05
		職員(係員) (人)	0.15	0.15	0.15	0.15
		嘱託職員等人件費 (千円)	0	0	0	0
	④	年間経費 (①+③) (千円)	25,286	25,292	25,211	25,211
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)	0	0	0	0
		国庫・府支出金 (千円)	0	0	0	0
受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)		0	0	0	0	
その他() (千円)		0	0	0	0	
⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)	25,286	25,292	25,211	25,211	
⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	

平成26年度
(平成25年度分)

事務事業名 区ボランティアセンター運営

II 評価結果

II-1 市民と行政の役割分担評価

公共性		実施主体の妥当性		受益者負担の妥当性
公益性	<ul style="list-style-type: none"> ■より多くの市民に提供されるサービス(共同消費性) □特定の個人または集団に提供されるサービス(個人消費性) 	政策性	<ul style="list-style-type: none"> ■政策的意決定を必要とするサービス(政策的) □經常業務の度合いが高いサービス(經常的) 	必要性(程度)
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ■日常生活に必要不可欠なサービス(必需) □日常生活に必要不可欠でないサービス(選択) 	行政専門性	<ul style="list-style-type: none"> □行政上の専門知識を必要とするサービス(行政専門性) ■行政上の専門知識を必要としないサービス(一般専門性) 	無
判定	① 必需・共同消費性	判定	④ 政策的・一般専門性	現在の受益者負担率(%)
<p>多数の人を対象とし、日常生活の維持などのため、欠かさず提供する必要があるサービスが該当します。 ただし、サービスを提供するために設備をはじめ多くのコストを要するため、その負担のあり方や程度について、検討しなければなりません。 【例】上下水道、ごみ収集など</p>		<p>業務を進めていくうえで、政策的な判断が必要ですが、業務を円滑に進めていくためには、行政以外の実施主体が持つ専門的な知識やノウハウ等が必要です。 行政と行政以外の実施主体の協働を原則としますが、そのあり方は、業務ごとに個別の検討を必要とします。</p>		0.0
国、府、民間事業者による類似事業	京都府において類似事業実施	他の政令指定都市の実施状況	他の政令指定都市においても類似事業実施(札幌市、北九州市等)	

II-2 業績評価

目標達成度	指標名		単位	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
指標 1	相談件数		目標値 …①	件	1,804	1,804	2,828
			実績値 …②	件	1,618	2,828	2,732
			目標達成度(②÷①)	%	89.7	156.8	96.6
区分	成果指標	種類	増加することが良いとされる指標		評価	普通	かなり良い
指標 2	ボランティア数		目標値 …①	名		17,276	21,339
			実績値 …②	名		21,339	
			目標達成度(②÷①)	%			123.5
区分	成果指標	種類	増加することが良いとされる指標		評価		かなり良い
					総合評価		かなり良い

指標 1	指標の選択理由		目標値設定の考え方			
指標 1	区ボランティアセンターにおける重要な業務の一つであり、ボランティア活動に対する市民ニーズを把握するうえで有効なため。		過去最高値を目標値とする。			
指標 2	平成25年度から、区域におけるボランティアの振興状況を測るうえで有効なため、ボランティア数を指標として設定する。		過去最高値を目標値とする。			

【参考】前年度に設定した評価指標の見直しの状況

指標	見直しの状況	前年度に設定した評価指標名	単位	H23年度	H24年度	H25年度
指標 1	変更無		目標値 …①			
			実績値 …②			
			目標達成度(②÷①)	%		
区分		種類	評価			
指標 2	変更無		目標値 …①			
			実績値 …②			
			目標達成度(②÷①)	%		
区分		種類	評価			

効率性	No.	区分	単位	H23年度	H24年度	H25年度
	①	相談件数	件	1,618	2,828	2,732
	②	年間経費(事業費及び人件費の合計額)	千円	25,286	25,292	25,211
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	15,628	8,943	9,228
	④	単位当たり経費変動率(%)			-42.8	3.2
				評価	かなり良くなった	悪くなった

市民参加度(市民参加の手法)	該当しない	(市民参加の具体的な手法等) 補助事業であるため、市民参加を行う予定はない。
----------------	-------	---

市会・監査・外部機関等からの指摘	
------------------	--